

平成28年度 基本評価調書

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	所管部局	経済部	作成責任者	経済部長 阿部 啓二	施策コード	05	13
		照会先	科学技術振興室科学技術振興G 011-204-5126(内線26-832)	関係課	科学技術振興室			

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)		総合計画の指標
		2 経済・産業	(4) 新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進	本道の活性化に役立つ科学技術の振興		産学官の共同研究件数
		2 経済・産業	(4) 新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進	健康長寿・医療関連産業の創造		-
北海道創生総合戦略	A3412, A3841, A3842, A3851		北海道強靱化計画	-	新・北海道ビジョン	C01304, C01305, C01805, C02205, C02206, C02208, C03101, C03201, C03202, C03707, C04001, C04003, C05801, C06502, C06504, C06505
特定分野別計画等	新北海道科学技術振興戦略、新・北海道知的財産戦略推進方策					

現状と課題	<p>・本道の経済の活性化と自立的発展、安全で安心な生活基盤の創造及び環境と調和した持続的な社会の実現に寄与することを目指し、道では、国の大型プロジェクトを活用した研究開発拠点の形成や研究開発機能の充実など、科学技術の振興に取り組んでいるが、全国一広大な本道において産業の振興を一層図るためには、各地域の様々な特性や政策課題を踏まえつつ、産学官金の関係者が強固に連携をとりながら、大学を核とした研究開発拠点の形成や、地域資源を生かした新事業・新産業の創出など、本道経済の自立化及び活性化に向けた取組を進める必要がある。</p>	施策目標	<p>・本道において科学技術水準の向上を図るため、科学技術を支える人材の育成及び道民の理解の増進を図るとともに、知的財産の創造、保護及び活用を取り進めながら、研究開発の充実及び産学官連携の促進を図る。</p> <p>・また、北海道立総合研究機構や地域の技術支援機関との連携により産業技術の高度化を図るとともに、新製品・新技術の開発や販路拡大を促進する。</p>
-------	---	------	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>[科学技術の振興] [国]科学技術振興法に基づき科学技術基本計画を策定 [関係者]国、学界、産業界、国民等 [道]科学技術振興条例及び新北海道科学技術振興戦略に基づく各種取組</p> <p>[産学官連携] [国]科学技術基本計画に基づく施策の実施及び調整 [道]新北海道科学技術振興戦略に基づく施策の実施および調整 [大学等]大学・試験研究機関の中期目標・中期計画に基づく研究開発の実施及び地域貢献 [支援団体]研究成果の普及及びコーディネート活動を通じた商品開発の支援 [金融機関]意欲ある取組の発掘及び育成、事業化に向けた産学官への助言 [事業者]研究開発、新技術の導入、研究成果の実用化、新製品の創出等</p>	<p>[知的財産の創造・保護・活用] [国]知的財産基本法に基づき知的財産推進計画を策定。知的財産に関する重要施策の企画・推進及び実施 [道]知的財産基本法に基づき新・北海道知的財産戦略推進方策を策定、及び各種施策の実施 [関係団体]北海道知的財産戦略本部によりオール北海道の推進体制を構築。関係機関と連携した各種施策を推進</p> <p>[技術支援の推進] [道]道立工業技術センターによる研究開発、技術支援 [産業支援機関]参入促進支援事業(補助事業)に係るものづくり企業の技術向上</p>	施策の予算額	
			H27	319,525
			H28	327,745
H29				

今年度の主な取組	<p>様々な機関との相乗効果のある科学技術イベントの効果的な実施 本道の強みを活かした産学官連携の推進 航空宇宙関連の研究や実験の拠点形成に向けた取組の推進 国内外との競争力を備えた研究成果の事業化や実用化等の推進 地域団体商標制度の普及啓発 北海道知的所有権センターの運営を通じた道内中小企業の開放特許の活用支援 地域の産業支援機関や道立工業技術センターによる技術支援等の推進 道立工業技術センターの望ましい運営のあり方について検討を継続 札幌医科大学とライフサイエンスの共同開発を進めている企業の施設整備を支援</p>
----------	---

1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果	(関連する計画等)		
	実 績 と 成 果 等	総合戦略	強靱化
様々な機関との相乗効果のある科学技術イベントの効果的な実施 ・「2016サイエンスパーク」を道総研との共催で実施。子ども達に科学技術を身近に体験し、理解を深めてもらうためのイベントとして60機関の連携・協力の下、約2500名(うち児童約1,400名)が来場した。(平成27年度実績:約2,400名(うち児童約1200名))			C06505
本道の強みを活かした産学官連携の推進 ・北大リサーチ&ビジネスパーク構想の推進や全道産学官ネットワーク推進協議会の開催など、本道の強みを活かした産学官連携を推進し、平成27年度は1,133件(前年度比126件増)の産学官の共同研究を実施した。	A3412		C01305 C02205 C03707 C06502
航空宇宙関連の研究や実験の拠点形成に向けた取組の推進 ・大学等研究開発機関等にリーフレットを配布し、関連団体と連携して道内施設等をPRしたことなどにより、航空宇宙分野における研究・実験が道内で新たに1件開始された。	A3851		C03201 C03202
国内外との競争力を備えた研究成果の事業化や実用化等の推進 ・国の大型共同研究プロジェクトであり、健康科学・医療融合拠点の形成を目指す、地域イノベーション戦略支援プログラム「Smart-H」を推進し、29件の実用化が図られた。	A3412		C04003
知的財産の活用支援(地域団体商標制度の普及啓発、北海道知的所有権センターの運営を通じた道内中小企業の開放特許の活用支援) ・地域団体商標や特許流通サポーターの制度周知に取り組んできた結果、平成27年度の地域団体商標の新規出願数は5件増えて累計51件、特許流通サポーターによる特許流通相談件数は目標(630件)を大きく上回る739件となった。			
地域の産業支援機関や道立工業技術センターによる技術支援等の推進 ・道立工業技術センターにおいて個別技術支援を240件実施した。 ・地域の産業支援機関を通じた技術の高度化や事業化加速に向け、19件の製品開発プロジェクトについて支援を実施した。 ・道立工業技術センターのあり方について、年度内に結論を得るべく、関係市町などと協議を実施している。			C01304 C01805 C02206 C02208 C06504
札幌医科大学とライフサイエンスの共同開発を進めている企業の施設整備を支援 ・札幌医科大学で行われる再生医療に関する研究開発に対し、研究開発支援事業費補助金(イノベーション創出研究支援事業)により支援を行った。	A3841 A3842		C03101 C04001 C05801

(2) その他の取組の成果等

<p>国等提案・ 要望状況</p>	<p>n 「地域イノベーションの創出等に向けた施策の推進」について、関係省庁に要望を行った。(平成27年7月21日)</p> <p>地域における産業振興に資する研究開発の取組を更に発展させる支援制度の実現(文部科学省、農林水産省、経済産業省)</p> <p>地域企業のニーズと大学等のシーズとを結びつけるコーディネート機能を充実させる施策の推進(文部科学省)</p> <p>航空宇宙分野に係る本道での研究開発等への支援(内閣府、文部科学省、経済産業省)</p> <p>n 「地域公設試験研究機関等の機器や施設整備に係る支援制度の創設」について、経済産業省に要望を行った。(平成27年7月21日)</p> <p>n 「北海道における航空宇宙開発の推進」について、NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC)とともに、内閣府、経産省、国交省、文科省、道内選出議員等へ要望を行った。(平成27年8月25日、平成28年1月19・20日)</p>	<p>施策に 関する 道民ニーズ</p>	<p>n 技術開発に向けて、高等教育機関等が持つシーズと地元企業のニーズのマッチングの機会が不足している。科学技術を支える人材を地域で確保できていない(平成28年7月 北海道科学技術審議会地域ヒアリングにおける産学官金関係者意見)。本意見を参考に、次期科学技術振興戦略の策定に向けた施策の検討を進める。</p> <p>n サイエンスパークの来場者アンケート結果によると、「来年も来たい」と回答した割合が89%に上っており、今後も継続して実施することとしている。</p> <p>n 全道産学官ネットワーク推進協議会やコーディネータ・ネットワークフォーラムにおいて、産学官金の関係機関を対象としてアンケートを実施した結果、他県の取組や知財を活用した地域ブランド形成等の事例紹介の希望が多かったことから、それらのニーズをベースにプログラム構成を検討している。</p> <p>n 航空宇宙分野に関する研究開発等の誘致活動や紹介リーフレットを作成するにあたり、事前に道政広報コーナーにおいて、パネル展を実施するとともに、道内の取組等に関する認知度のアンケート調査を行い、その結果を活用をしている。</p> <p>n 工業技術センターは地域になくてはならない存在として、引き続き道立施設として継続することが期待されている(平成26年2月～4月実施、施設利用者アンケート結果より)。本意見などを参考に、工業技術センターのあり方について、関係市町と協議を進めて</p>
-----------------------	--	------------------------------	--

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	「北海道バイオリディング・プロジェクト」の推進に向け、「ヘルスイノベーション拠点」の形成や新産業創出を先導する「北海道バイオリディング・プロジェクト」を推進する。	N0501	経済部食関連産業室	国(文部科学省)の地域イノベーション戦略支援プログラム「さっぽろヘルスイノベーションSmart-H」において、食・健康・医療の融合研究拠点の形成を目指した産学官による研究開発を支援し、道産機能性食品の開発促進、実用化、高付加価値化、販路拡大を進めている。
		N0511	経済部産業振興課	
-	航空宇宙関連の研究や実験の拠点形成に向け、各種取組を一体的に推進する。	N0510	経済部産業振興課	経済部産業振興課が開催、もしくは参画する航空宇宙分野に関するセミナー等でリーフレットの配布等を行うとともに、航空宇宙分野に関する企業等のニーズ調査などの実施に当たり連携した取組を行っている。
-	ものづくり産業における良質で安定的な雇用創出に向け、本道企業の自動車・食関連機械産業への参入促進やものづくり企業の参入促進を図る。	N0510	経済部産業振興課	平成28年6月、経済部産業振興課と合同で、道総研、中小企業総合支援センター、ノーステック財団、地域の産業支援機関及びものづくり関連の業界団体で構成する「北のものづくりネットワーク」を立ち上げ、ものづくり企業をワンストップで支援する体制を整備した。
	本道の特性を活かした研究開発や研究成果の移転などを促進するとともに、地域におけるイノベーションを生み出す仕組みを構築するため、新北海道科学技術振興戦略に基づき、産学官の共同研究を推進する。	N0203	総合政策部研究法人室	道総研が行う研究費等の財源を措置するとともに、大学やその他の試験研究機関に対してはノーステック財団が行うイノベーション創出研究支援事業などを通じて、道内における産学官による共同研究、事業化に支援を行っている。

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
産学官の共同研究の件数	基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか	
	基準値	1007	目標値	1036	最終目標値	1100	年度					H27
〔指標の説明〕 道内の大学及び道立試験研究機関と民間企業等との共同研究の件数	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	1019	1036	1100	北大R&BP構想の推進や、全道産学官ネットワーク推進協議会などの取組を行う中、道内における産学官による共同研究が進み、目標を上回る実績が得られており、研究成果の移転に向けた取組が進捗している。	
	北海道総合計画		増加		$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	1133	-	1133		
							達成率	111.2%	-	103.0%		
航空宇宙分野における研究・実験の道内への新たな誘致	基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31	達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか	
	基準値	0	目標値	2	最終目標値	5	年度					H27
〔指標の説明〕 大学等研究機関や民間企業等が道内で新たに実施した航空宇宙分野及び当該分野関連技術を活用した研究・実験の件数	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	1	2	5	大学等研究開発機関等にリーフレットを配布し、関連団体と連携して道内施設等をPRしたことなどにより、着実に目標値を達成している。	
	北海道創生総合戦略		増加		$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	1	-	1		
							達成率	100.0%	-	20.0%		
「サイエンスパーク」参加児童生徒数	基準年度	H24	年度	H28	最終年度	H29	達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか	
	基準値	600	目標値	800	最終目標値	800	年度					H27
〔指標の説明〕 サイエンスパークにおける、参加児童生徒の人数	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	800	800	800	チラシを札幌市内の全小学生に配布するなど積極的なPRを行ってきた結果、夏休みの小学生向け科学イベントとして定着してきている。	
	新北海道科学技術振興戦略		増加		$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	1200	1400	1400		
							達成率	150.0%	175.0%	175.0%		
地域団体商標新規出願数	基準年度	H23	年度	H28	最終年度	H29	達成度合	B	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか	
	基準値	44	目標値	54	最終目標値	56	年度					H27
〔指標の説明〕 道内の団体が、特許庁に出願した地域団体商標の累計	根拠計画		達成率の算式		達成率の算式		目標値	52	54	56	平成26年8月に地域団体商標の登録主体が拡充されたのを契機に、関係機関と連携して制度の周知に取り組んできた結果、新たな出願が増加している。	
	新北海道科学技術振興戦略		増加		$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	51	-	51		
							達成率	98.1%	-	91.1%		
特許流通サポーターによる特許流通相談件数	基準年度	H23	年度	H28	最終年度	H29	達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか	
	基準値	605	目標値	630	最終目標値	630	年度					H27
〔指標の説明〕 北海道知的所有権センターに配置している特許流通サポーターによる1年間の特許流通に関する相談件数	根拠計画		達成率の算式		達成率の算式		目標値	630	630	630	セミナーや展示会等に積極的に参加し、企業等と関わる機会を増やしてきた結果、制度の認知度が向上し、相談件数が増えている。	
	新北海道科学技術振興戦略		増加		$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	739	-	739		
							達成率	117.3%	-	117.3%		

本施策に成果指標を設定できない理由	判定 (直近の達成率(%))	A 100以上	B 90以上100未満	C 80以上90未満	D 80未満	- 算定不可	結果
	主要指標	1					
	関連指標	3	1				

5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	-	<p><産学官の共同研究の件数[A]> 北大R&BP構想の推進や、全道産学官ネットワーク推進協議会などの取組を行う中、道内における産学官による共同研究が進み、目標を上回る実績が得られており、研究成果の移転に向けた取組が進められている。</p>	<p><施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか> ・道内各地域で産学官の連携による研究開発や人材育成、新製品・新技術の開発などの取組が進められており、施策推進の効果が認められる。</p>	+評価
関連指標	-	<p><航空宇宙分野における研究・実験の道内への新たな誘致[A]> 大学等研究開発機関等にリーフレットを配布し、関連団体と連携して道内施設等をPRしたことなどにより、目標値を達成しており、着実な進捗が図られている。</p> <p><「サイエンスパーク」参加児童生徒数[A]> チラシを札幌市内の全小学生に配布するなど積極的なPRを行ってきた結果、夏休みの小学生向け科学イベントとして定着してきている。</p> <p><地域団体商標新規出願数[B]> 平成26年8月に地域団体商標の登録主体が拡充されたのを契機に、関係機関と連携して制度の周知に取り組んできた結果、新たな出願が増加している。</p> <p><特許流通サポーターによる特許流通相談件数[A]> セミナーや展示会等に積極的に参加し、企業等と関わる機会を増やしてきた結果、制度の認知度が向上し、相談件数が増えている。</p>	<p><施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか> ・地域イノベーションの創出等に向け、必要な要望を国に対して実施しており、状況の進捗が認められる。</p> <p><道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか> ・アンケートや地域ヒアリングを通じて有用な意見を聴取しており、施策の効果改善に役立てている。</p> <p><施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか> ・北海道バイオリディング・プロジェクトの推進、航空宇宙関連の拠点形成、本道企業の自動車・食関連機械産業への参入促進、本道の特性を活かした研究開発や研究成果の移転において、関係部と連携した成果が確認できる。</p>	

総合評価	概ね順調に展開	評価の要	指標の達成度合が概ね順当であるため、評価は「概ね順調に展開」とする。
------	---------	------	------------------------------------

次年度に向けての課題と今後の方向性（対応方針）

（関連する計画等）

方針	課 題 と 方 向 性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	企業や大学等の参画を得てサイエンスパークを開催しているが、科学技術に対する理解増進に向けた取組を充実していくため、より効果的な内容となるよう工夫する必要がある。			C06505
	北大R&BP構想の推進や全道産学官ネットワーク推進協議会、コーディネータ・ネットワーク・フォーラムの開催などを通じて、引き続き、道内における産学官ネットワークの強化とともに地域イノベーション創出に向けた共同研究等の活動を推進していく。	A3412		C01305 C02205 C03707 C06502
	航空宇宙分野における研究・実験の道内への新たな誘致などを行い、航空宇宙関連の研究や実験の拠点形成に向け、関連団体と連携を図りながら取組を推進する。	A3851		C03201 C03202
	文科省事業「地域イノベーション戦略支援プログラム」を活用し、食・健康・医療分野が融合する研究開発拠点の形成（さっぽろヘルスイノベーションSmart-H）を進めているが、このプロジェクトで築き上げた産学官連携基盤と研究成果等を最大限活かし、最先端技術の事業化や新産業創出などに向け更なる取組を進めるべく、新たな研究開発プロジェクトの獲得を目指すとともに道も主体的な支援を行っていく。	A3412		C04003
	地域団体商標の活用にあたっては、北海道知的財産戦略本部の関係機関と連携し、地域の事業者団体等を対象としたセミナー等により、制度活用のメリットや出願ノウハウについて普及・啓発を図る。北海道知的所有権センターに特許流通に関する専門家を配置し、開放特許の活用をはじめ、大学や道総研が持つ特許等の実施許諾の促進を支援するなど、道内の中小企業等における知的財産の活用を促進する。			
	道立工業技術センターの望ましい運営やあり方の方向性について、年度内に関係市町との協議により結論を得た上で、道内企業の技術力の高度化に向け、共同で取り組む。			C01304 C01805 C02206 C02208 C06504
	札幌医科大学と再生医療に関する共同研究を行う民間企業の研究拠点整備が進められているが、それとともに、同分野の産学連携による研究開発の推進に向け、引き続き必要な支援を行っていく。	A3841 A3842		C03101 C04001 C05801

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	施策コード	05	13
-----	-----------------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進(再掲)	施策コード	05 - 13
-----	---------------------	-------	---------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果(知事による評価)

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価		主な対応		
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
05090100	研究開発推進事業費(フロンティア分野研究開発推進費)					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05090200	研究開発推進事業費(北海道宇宙科学技術創成センター活動支援事業補助金)					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05090300	研究開発推進事業費(航空宇宙関連推進費)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
05090400	研究開発推進事業費(科学技術振興戦略推進費)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
05090599	科学技術振興室総合調整等業務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05090600	研究開発推進事業費(R & B P整備推進事業費)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
05090700	科学技術振興事業費補助金(研究開発支援事業費補助金)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
05090800	研究開発推進事業費(知的所有権センター事業費)					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05090900	研究開発推進事業費(科学技術振興戦略推進費(北海道中小企業総合支援センター補助金))					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05091099	ものづくり支援センターに関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05091100	高度技術産業集積活性化事業費(工業技術センター指定管理者、委託)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小	施設の望ましい運営やあり方の方向性について、平成28年度中に結論を得ること。	縮小	平成28年11月に関係市町等との協議により取りまとめた、機器整備、施設改修、運営費負担の見直しなどの取組を着実に進める。
05091200	高度技術産業集積活性化事業費(団補)					継続(拡充)	継続(拡充)	拡充	拡充		拡充	
05091399	JKA(旧日本自転車振興会)補助金に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05091499	その他公設試験研究機関等に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価			主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
05091599	北海道産学官共同研究拠点に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05091699	旧テクノ財団(函館・道央)のあり方検討に関すること					-	継続(縮小)	縮小	縮小		縮小	
05091799	参入促進支援事業					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	施策コード	05	13
-----	-----------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p><新たな取組等> 小学生に興味を持ってもらえるよう実験や体験内容の充実を図るなど、今後とも出展企業等との調整を行っていく。</p>
	<p><新たな取組等> 産学官金のネットワーク強化と地域イノベーション創出に向けた共同研究等の活動を推進するため、H29年度からスタートするR&BP協議会の新たな推進事業計画に基づき取組を進めるほか、引き続き全道産学官ネットワーク推進協議会、コーディネーターネットワーク・フォーラムを開催する。</p>
	<p><新たな取組等> 道内企業の航空宇宙産業への参入や宇宙利用の促進を図るため、引き続き普及啓発セミナーの実施に加え、大学と企業等の意見交換の場を設置するほか、生産現場見学や技術指導による道内企業の技術力向上の支援を行っていく。</p>
	<p><新たな取組等> さっぽろヘルスイノベーションSmart-Hで築き上げた産学官連携基盤と研究成果等を最大限活かし、関連団体と連携を図りながら、事業化や新産業創出などに向け更なる取組を進めるとともに、道内大学等が獲得を目指す、新たな研究開発プロジェクトについて、道も主体的な支援を行っていく。</p>
	<p><新たな取組等> 日本貿易振興機構及び農林水産知的財産保護コンソーシアム等の関係機関と連携し、地理的表示保護制度や海外展開に関する情報も含めて、地域ブランド保護・活用の重要性や手法に関するセミナー等への事業者等の参加を促進していく。 また、北海道知的所有権センターに配置している特許流通サポーターがこれまで企業等への訪問・相談活動等により築いてきたネットワークを活かし、特許等実施の成約に結びつけていく。</p>
	<p><新たな取組等> 道立工業技術センターの運営やあり方について、平成28年11月に関係市町等との協議により取りまとめた結果に基づき着実に取組を進める。</p>
	<p><新たな取組等> 道内の再生医療分野における研究開発の推進に当たっては、研究開発支援事業などの活用により、引き続き必要な支援を行っていく。</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応

平成28年度 基本評価調書

施策名	科学技術の振興と技術支援の推進	施策コード	05	13
-----	-----------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	事業	1 事業	10 事業	6 事業	事業	事業	事業	17 事業
反映結果	事業	1 事業	12 事業	4 事業	事業	事業	事業	17 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
1 事業